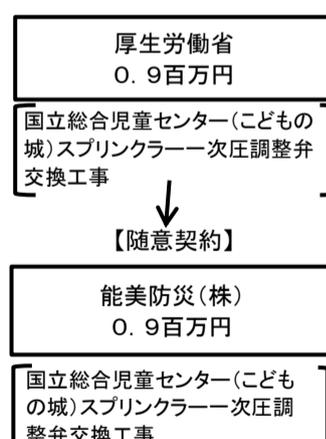
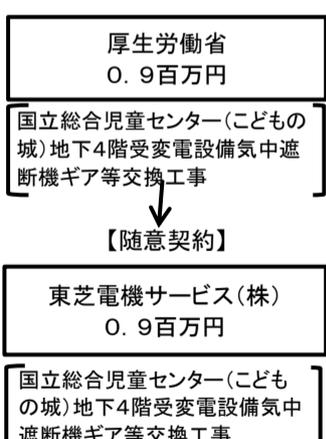
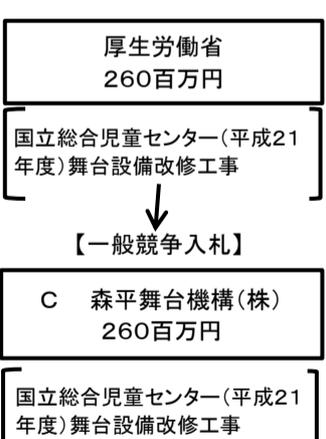
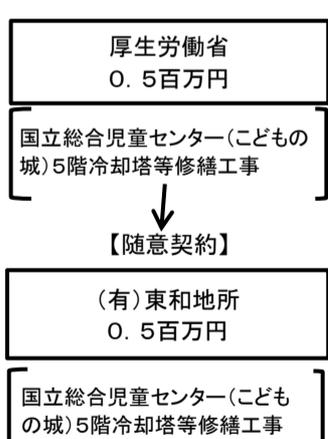
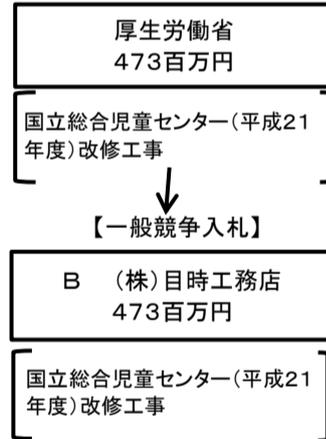
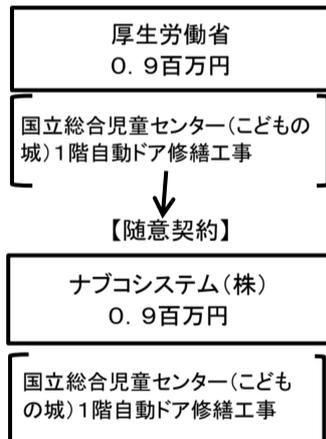
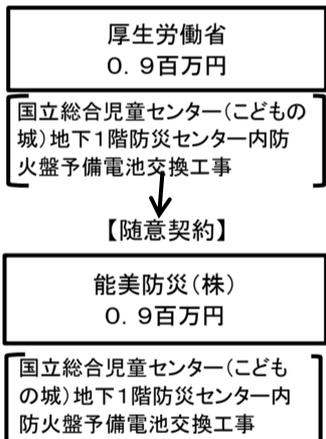
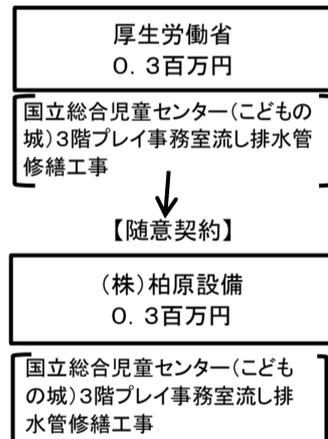
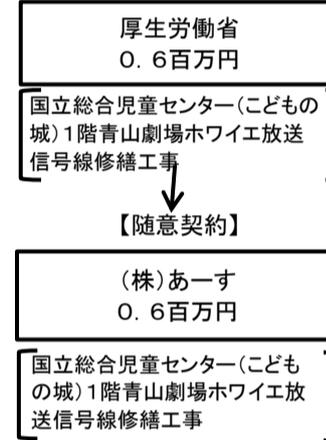
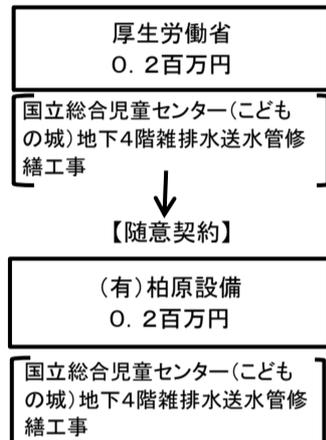
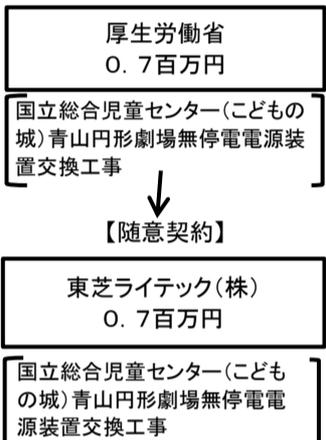
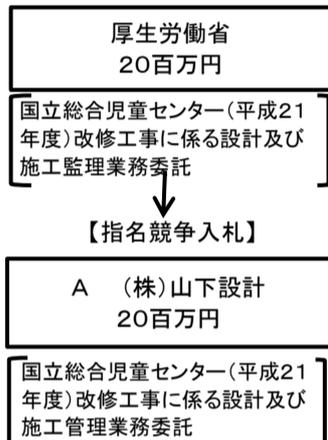
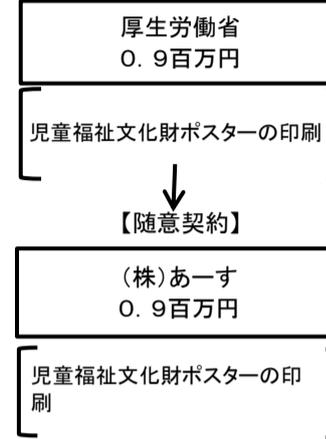
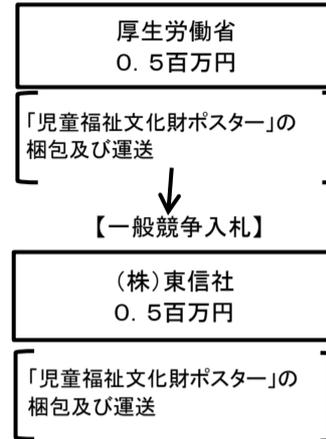
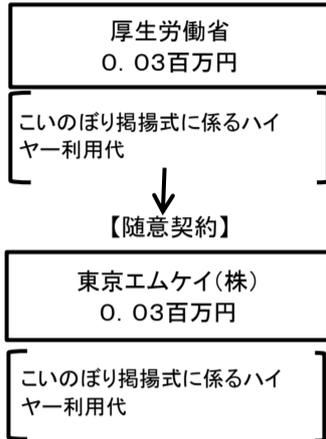
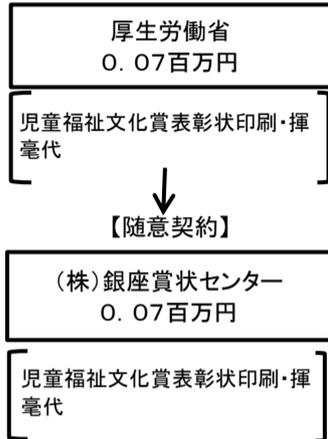
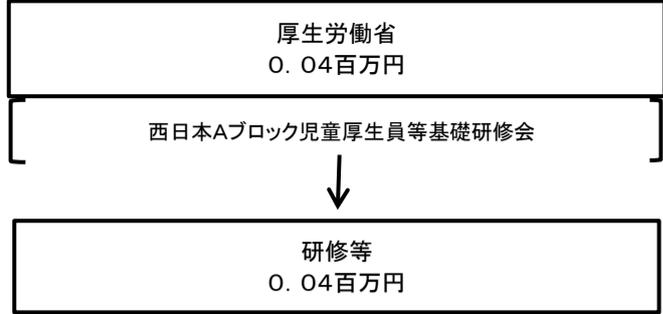
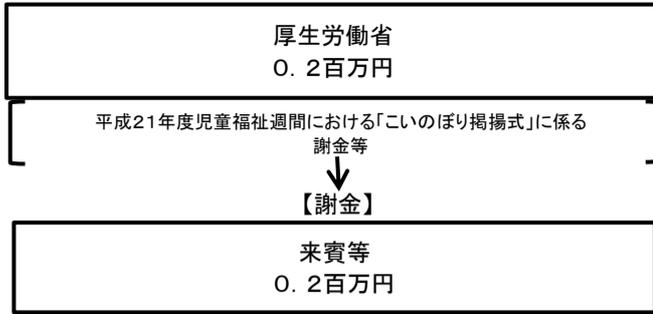


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	国立総合児童センターの運営等に必要経費	事業開始年度	平成6年度	作成責任者		
担当部局	雇用均等・児童家庭局	担当課室	育成環境課	真野 寛		
会計区分	年金特別手当児童手当及び子ども手当勘定	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	昭和54年の国際児童年を記念して、唯一の国立の児童館(児童厚生施設)であり、全国の児童健全育成関係施設の中核施設として昭和60年に開館された「国立総合児童センター」(こどもの城)の運営、整備等を行うことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立総合児童センター(こどもの城)の運営、整備 ○実施主体: 国(財団法人児童育成協会に運営委託)  その他児童の健全育成に必要な事業の実施 等 ○実施主体: 国					
実施状況	平成20年度実施状況 ・事業実績: こどもの城の来園者数: 908, 693人(平成21年度については集計中) ・児童福祉週間における「こいのぼり掲揚式」の実施 等					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	546	905	928	921	918
	執行額	501	801	769		
	執行率	91.8%	88.5%	82.9%		
	総事業費(執行ベース)	501	801	769		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	経費を支出している勘定所管課室において、連絡調整により定期的に内容・深度等の進捗状況を把握するとともに、施設整備の竣工後、入念な検収を行い、内容を適正に審査している。				
	見直しの余地	こどもの城は、開園以来25年が経過しており、施設内の建物が老朽化していることから、順次改修を行っていく必要がある。				
予算チームの監視・効率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減)  本事業の必要性を見直し、優先順位を付けるなど効率化を図ること。					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



うち事務費 2百万円

A.(株)山下設計			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	国立総合児童センター(平成21年度)改修工事に係る設計及び施工監理業務	20			
計		20	計		0
B.(株)目時工務店			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	国立総合児童センター(平成21年度)改修工事	473			
計		473	計		0
C.森平舞台機構(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	国立総合児童センター(平成21年度)舞台設備改修工事	260			
計		260	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)